

学校教育目標	未来をきりひらこう！やさしいいっぱい えがお輝くわたしたち 学び合う楽しさの中で自ら問題を発見し、知識や経験を活用しながら追究していく力を育てます。(知) 人と豊かに関わり合いながら、自他を大切に育てます。(徳) 自他の命を大切に、心身ともにたくましく生きる力を育てます。(体) 他者と協働する経験を通して、夢や目標をもち、地域や社会のために行動する力を育てます。(公) 間違いを恐れずにチャレンジする経験を通して、グローバルな視野で共に生きていく力を育てます。(開)				
	学校概要 創立 148 周年 児童生徒数: 954 人	学校長 大谷 珠美 副校長 澁田 美穂	2 学期制 一般学級: 26 個別支援学級: 10	主な関係校: 戸塚中学校、東汲小学校、矢部小学校	

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	主体的に生きる力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		戸塚中学校 矢部小学校 東汲小学校	自ら学び、人とのかかわりを通して、自分らしく心豊かに生きていく子 ①小中合同授業研究会・合同研修会を通して、ブロック内学校の授業改善・授業力の向上を図る。 ②豊かな表現力の育成を目指して、児童生徒のコミュニケーション力を高める教育の工夫と改善を図る。 ③教育活動や地域交流を通して、自己有用感を高める教育の工夫と改善を図る。

中期取組目標	学校を積極的に開き、保護者や地域の方とともに子どもを育てる風土を作ります。 積極的に人と関わり自らの思いを伝えるときともに他者の思いも受け止められるような子どもに育てます。 物事の善悪を判断し、自ら積極的に人や地域と関わり行動する子どもを育てます。 教職員の資質の向上を図り、学校組織が協働して子どもを育て、地域と関わっていきます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
特別支援教育	配慮を要する児童へ有効な組織的対応を図ります。個別の支援計画や指導計画を作成、活用し継続的な指導に努めます。 ①特別支援委員会およびチーム戸塚会議を中心に、教育的ニーズのある児童の把握を行い、個別の指導計画に基づき、校内体制の検討を行います。 ②児童理解・特別支援研修を通して、教職員の児童理解、指導力の向上を図ります。 ③必要に応じて、外部機関と連携して専門的な支援方法を取り入れます。
豊かな心	①道徳の授業での話し合い活動を充実させ、規範意識や思いやりの心の育成を図ります。 ②音楽集会や朝読書の充実に努め、子どもたちの情操を高めます。 ③ふれあい活動や体験活動などを設定し、異学年でのかかわりを通して、豊かな心を育てます。
生きてはたらく知	①子どもが意欲をもって主体的に学び続ける姿を目指し、「戸塚小学校で育てたい資質・能力」の育成を目指した授業づくりを行います。 ②「戸塚小で育てたい資質・能力」を検討・見直し、資質・能力を系統的・段階的に育成できるような教育課程を構築します。 ③学習評価については、指導案にも評価についての項目を設け、指導案検討や研究討議の際に、具体的な評価方法や児童の姿について議題にしていきます。
健やかな体	①体育科学習や新体力テストを通して、自分の体力や命について関心をもち、体や命を大切にしようとする心を育みます。 ②学校保健委員会では、感染症予防に視点を当てて、健康な心と体をつくることを目指します。 ③給食を中心教材として食育を進め、自分の体や命について考えるようにします。
児童指導	全教育活動の中で、児童相互が良好で健全な関係づくりができるよう、児童に寄り添ったチームによる指導を粘り強く進めます。 ①「生活のしおり」の共通理解を図り、本校の目指す教育を明確にします。 ②人権福祉児童指導部や、チーム戸塚会議で児童の情報を共有し、学校全体での指導に生かします。 ③YPアセスメントを実施し、子どもたちのよりよい関係づくりを目指します。
地域連携・学校運営協議会	①学校・地域コーディネーターを中心として、登校指導や低学年の生活補助等、地域や保護者の方の協力を得ながら行っていきます。 ②学校運営協議会を通して、学校と地域の方と情報共有や協力体制がとれるようにし、地域の特色を生かした学校づくりが進められるようにします。 ③150周年実行委員会を立ち上げ、150周年に向けた学校づくりとさらに連携を深めた地域との関係づくりに向けに話し合いを進めます。また、話し合った内容を教育活動に活かします。
いじめへの対応	いじめは絶対に許さないという共通理解のもと、いじめの未然防止を図り、早期発見・早期対応に組織的に取り組みます。 ①子どもの個性や多様性「その子らしさ」を認め、居心地のよい学校・学級風土づくりに努めます。 ②いじめの定義を再認識し、教職員の人権意識を高める研修を行います。 ③「あいさつ」の輪が広がるよう支援し、人との関わりを大切に子どもを育てる育成に努めます。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①経験の浅い職員のサポートに主幹教諭や経験のある職員が積極的に関わり、指導力やスキルを高めます。また、教育委員会等で開催する研修にも参加し、活用していきます。 ②職員数の多い長所を生かし、組織の力を活用したり、分掌が有効に機能したりできるようにします。 ③メンター研修のシステムを一新し、メンターとメンティーのペアを作り、メンティーが安心して相談できるサポート体制を築きます。また主幹教諭のメンター研オプザーバーを中心に、全教職員がメンター研修をサポートしていきます。